【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】令和7年5月13日(2025.5.13)

【国際公開番号】WO2024/070559
【出願番号】特願2024-549960(P2024-549960)
【国際特許分類】
Ｂ２５Ｈ　3/02(2006.01)
Ａ４５Ｃ 11/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２５Ｈ　3/02
Ａ４５Ｃ 11/00　　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月27日(2025.2.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、
前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、
前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、
各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、
前記角部に設けられ、上下方向と交差する延在方向に延びるとともに、前記上下方向及び前記延在方向と交差する厚み方向における厚みが前記上下方向における幅よりも小さい板状であり、前記厚み方向において前記本体部との間に隙間を有する複数の第１板状部と、
複数の前記第１板状部を繋ぐように前記側壁の表面に沿って延びる第２板状部と、を備える、ケース。
【請求項２】
前記角部は、
前記前壁と前記右壁とを接続する第１角部と、
前記前壁と前記左壁とを接続する第２角部と、
前記後壁と前記右壁とを接続する第３角部と、
前記後壁と前記左壁とを接続する第４角部と、
を含み、
前記第１板状部は、
前記第１角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる第１の第１板状部と、
前記第２角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる第２の第１板状部と、
前記第３角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる第３の第１板状部と、
前記第４角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる第４の第１板状部と、
を有する、請求項１に記載のケース。
【請求項３】
前記第１の第１板状部は、上下方向視において、前記前壁の右端部と前記右壁の前端部とを結ぶ仮想線よりも外側に設けられる、請求項２に記載のケース。
【請求項４】

前記板状部は、前記角部の上部と下部とに設けられる、請求項１に記載のケース。
【請求項５】
前記板状部は、前記第１及び第２角部において、それぞれの前記角部の上部と下部とに設けられる、請求項２に記載のケース。
【請求項６】
前記板状部は、金属製の平板状部材によって形成される、請求項１に記載のケース。
【請求項７】
各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、
前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、
前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、
各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、
前記角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる柱状の柱状部と、
を備え、
前記柱状部は、上下方向視において、前記蓋部と重ならない位置に配置され、
前記柱状部は、前記本体部の複数の前記角部に設けられ、
前記柱状部は、前記複数の角部のうちの隣り合う前記角部に設けられた前記柱状部に橋渡しして引っ掛ける後付引掛部を取り付け可能である、ケース。
【請求項８】
前記後付引掛部は、前記柱状部に引っ掛けるＵ字状部を備えるとともに、前記Ｕ字状部から下方に向けて延在し、かつ前記Ｕ字状部の内側に向けて突出して前記柱状部に当接可能な突出部を備える、請求項７に記載のケース。
【請求項９】
前記後壁より後方に突出する部分を有し、前記右壁に沿って回転可能に設けられる右側タイヤと、
前記後壁より後方に突出する部分を有し、前記左壁に沿って回転可能に設けられる左側タイヤと、
を備え、
前記後付引掛部は、前記後付引掛部の延在方向において前記後付引掛部を仕切るとともに、前記本体部に向けて突出する仕切部を有する、請求項７に記載のケース。
【請求項１０】
各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、
前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、
前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、
各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、
前記角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる柱状の柱状部と、
を備え、
前記柱状部は、上下方向視において、前記蓋部と重ならない位置に配置され、
前記角部に前記本体部の外側に突出するとともに、切欠部を備えるリブが設けられ、
前記柱状部は、前記切欠部に嵌め込まれ、
前記柱状部は、前記リブと嵌合する嵌合部材によって前記リブに固定される、ケース。
【請求項１１】
前記柱状部は、前記リブと前記嵌合部材とがねじ部材によってねじ結合されることで前記リブに固定され、
前記ねじ部材は、前記本体部の上面の開口が前記蓋部によって閉じられた状態の上下方向視において、前記蓋部によって隠される、請求項１０に記載のケース。
【請求項１２】
各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、
前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、

前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、
各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、
前記角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる柱状の柱状部と、
を備え、
前記柱状部は、上下方向視において、互いに前記本体部の対角に位置する２つの前記角部に設けられる、ケース。
【請求項１３】
前記本体部は、他のケースと連結可能な連結部を下方に有し、
前記蓋部は、他のケースの連結部と嵌合可能な被連結部を有する、請求項１２に記載のケース。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明のケースは、各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、前記角部に設けられ、上下方向と交差する延在方向に延びるとともに、前記上下方向及び前記延在方向と交差する厚み方向における厚みが前記上下方向における幅よりも小さい板状であり、前記厚み方向において前記本体部との間に隙間を有する複数の第１板状部と、複数の前記第１板状部を繋ぐように前記側壁の表面に沿って延びる第２板状部と、を備える。
本発明の他のケースは、各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、前記角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる柱状の柱状部と、を備え、前記柱状部は、上下方向視において、前記蓋部と重ならない位置に配置され、前記柱状部は、前記本体部の複数の前記角部に設けられ、前記柱状部は、前記複数の角部のうちの隣り合う前記角部に設けられた前記柱状部に橋渡しして引っ掛ける後付引掛部を取り付け可能である。
本発明の他のケースは、各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、前記角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる柱状の柱状部と、を備え、前記柱状部は、上下方向視において、前記蓋部と重ならない位置に配置され、前記角部に前記本体部の外側に突出するとともに、切欠部を備えるリブが設けられ、前記柱状部は、前記切欠部に嵌め込まれ、前記柱状部は、前記リブと嵌合する嵌合部材によって前記リブに固定される。
本発明の他のケースは、各々が板状の複数の側壁と、底壁と、を有する箱状の本体部と、前記本体部の上面に設けられる開口を覆う蓋部と、を有し、前記複数の側壁は、前壁、後壁、右壁及び左壁を含み、各々が前記複数の側壁のうち隣り合う２つの側壁の外縁同士を接続する稜線状である複数の角部と、前記角部に設けられ、上下方向と交差する方向に延びる柱状の柱状部と、を備え、前記柱状部は、上下方向視において、互いに前記本体部の対角に位置する２つの前記角部に設けられる。